



研修医通信

Resident News

紀南研修を終えて

三重大学医学部附属病院
研修医2年目 大川真駒

昨年12月末に、7ヶ月の紀南病院研修を終えました。

現在は、三重大学医学部附属病院に戻り研修を続けています。

研修に関しては、これだけたくさんいると色々な事があり、うまく書けず、提出が遅くなってしまいました。作ってくれる山内先生にも、本当にご迷惑をかけて申し訳ないです。山内先生含め、7ヶ月間（特に内科の3ヶ月）にたくさんの方に出会いました。別の研修病院の研修医と話すことで、足りないものなど意識するところが多くありました。12月の山内先生へのガッツには驚きです、、、ほんとに脱帽でした。

そんな私が一番得たものは、たくさんの方のご縁だと思います。

何事にも、継続は力なりと思います。ご縁もそうでありたいと思います。

7ヶ月間ありがとうございました。

研修担当の奥野先生、関わってくださった方々に出会い、学び、私はとてもいい経験ができました。また、熊野に帰った際には、よろしくお祈りします。

1ヶ月の地域医療研修を終えて

東京大学医学部附属病院 初期研修医2年目 山内豪人

紀南病院の皆様明けましておめでとうございます。

昨年の12月の1ヶ月間、紀南病院の内科で研修をさせていただきました山内豪人です。1ヶ月間大変お世話になりました。

1ヶ月間と研修期間は大変短かったですが、本当に沢山の事を勉強・経験させていただきました。

私は、研修医1年目は福島県郡山市の太田西ノ内病院で初期研修を行い、2年目は東京文京区の東京大学医学部附属病院で初期研修を行っております。これまで勤務した病院と比較してみても、三重の紀南病院は大変素晴らしい病院だと強く実感しております。

第一に紀南病院のスタッフの方々との挨拶が素晴らしく、ここまで挨拶が徹底された病院は見た事はありません。上級医の先生や看護師の方々をはじめスタッフの皆様がとても温かく本当に働きやすい環境でした。

そしてCTやMRIなどの画像診断やエコーなどの生理検査などほとんどの検査を行うことができ、治療薬についても制約を特に感じる事なく内科診療を行う事ができました。僻地とは言いますが、行われている内科診療については一部を除けば、特に都内の大学病院で行われるものと遜色なくスタンダードな医療を、患者さん達に提供できる病院だと思います。

紀南病院の内科診療ではほとんど高齢者が対象であり、2016年12月28日時点の私の20人弱の担当患者の平均年齢は93歳と、“超高齢”でした。加齢に伴い複数の疾患を合併している患者さんがほとんどであり、それだけ医師の守備範囲も期待されるのだと痛感しました。研修医の立場としては、患者さんの疾患や問題点の数だけ勉強の機会があり、紀南病院の患者さんは皆私にとっての最高の教科書・恩師のような存在でありました。

僻地ならではの診療所勤務と往診も自分にとって初めての経験となり、大変勉強になりました。患者さんのお話と身体診察のみから身体の状態を把握するのは現在の医療が進んでいる状況ではなかなかできない貴重な体験となりました。

内科の先生方には大変手厚いご指導をいただき、内科診療について多くを学ぶ事ができました。特に指導医の野口先生、月曜日ER日直の小野先生には感謝してもきれません。

1ヶ月間紀南病院で研修をすることで現在の勤務先の病院や東京での自分について見直すきっかけにもなりました。東京大学医学部附属病院は大学病院であることと最高学府であるという自負からか、リスク管理や感染症対策などを他病院からは過度に映るくらい徹底されていると感じました。自分自身については皆様のサポートのお陰で1ヶ月間一生懸命働き担当患者さん達の状態を良くする事ができたことが少しではありますが自信になりました。東京に戻ってからも紀南病院で奮闘した記憶を忘れずに日々精進していきたいと思っております。

今年の4月からは埼玉県の大宮にある自治医科大学附属さいたま医療センターで心臓外科医として働きます。今回の1ヶ月で学んだ事を活かして診療にあたっていきたいと思っております。

1ヶ月間本当に有り難うございました。



研修報告会後の打ち上げ。
日付が変わっても歌い続けました。

研修医歓迎会後のイルミネーションはとても綺麗でした。



おおかわまこま

大川真駒

三重大学医学部附属病院

初期研修医2年目

6-12月紀南病院で研修

麻酔科入局予定

やまうちたけと

山内豪人

東京大学医学部附属病院

初期研修医2年目

12月紀南病院で研修

心臓外科入局予定